



ぴーちく ぱーちく

〒569-0082 大阪府高槻市明野町 10-15
ぷりんせす明野 1 F

編集・発行 NPO法人自立支援センターたかつき

第71号

2017. 3. 24 発行
TEL: 072-672-1294 FAX: 072-668-3210
MAIL: wffcj830@yahoo.co.jp
URL: <http://ciltakatuki.web.fc2.com/>



じゅうどほうもんかいごけんしゅう

重度訪問介護研修をひらきました



2月28日、重度訪問介護従事者養成研修を開講しました。今回は高校生、大学生、社会人計19名が受講されました。はじめの三日間は講義と介護演習が主で、みなさん、講義も演習も真剣にと取り組んでおられました。

お昼休憩では、食事介助の練習をしてもらいながら、一緒に昼食を食べ交流をしました。三日間の講義のあとは、現場実習でフォーラムに来ていただき、買い物に行ったり、トイレや食事介助、それぞれの家を見てもらったりしました。家を見学された方は、生活しやすいように工夫されていることや、どういう風に生活しているかを知り、感心されていました。

研修の最終日には外出実習で梅田に行って、いろいろなミッションをクリアして帰り、修了式も終わり、無事閉講することができました。受講されたみなさん、本当にお疲れさまでした！この研修を機にどんどん私達と関わってほしいなと思います。どうぞ、よろしく願います。(みか)

僕はこの研修で知り合った人たちと仲良くなり、介助に入ってもらいながら生活しています。その多くは学生なので、毎年卒業や就職で介助を辞めていき、そしてまた新しい人が入ってくれて、まさに出会いと別れの季節を感じます。

別れのこの季節はいつもさみしく感じ、これはどこから来るのかと考えたとき、介助とは健常者同士の間関係とちがって、身体介助などしてもらったり、良くも悪くも障がい者も健常者も互いをさげすみ出す関係にあるからだと思いました。

僕は24時間介助者が必要で、常に人がいるという息苦しさを感じてしまうこともあります。色々な人と出会い、別れて僕のネットワークが出来ていくことに幸せを感じています。今回の研修で知り合った方にも数名介助に入ってもらおうことが決まっています。その人たちとこれから人間関係を築き、自分らしい生活をしたいと思っています。(ひろき) (研修の様子は来月もお伝えします)



講義の様子 皆真剣！



女性陣 移乗の練習中



男性陣も移乗の練習！

和歌山のシンポ「障害者差別解消法と弁護士の役割」に参加しました～

3/18(土)は、とてもいい内容のシンポジウムが京都と和歌山で
バッチング！迷った末、和歌山へ行ってきました。行って良かったです！

障害者差別解消法施行からはや1年。法律が絵に描いた餅となるかどうか
はこれから勝負。このシンポでは、差別解消法と弁護士の役割という題名
のもと、和歌山弁護士会で“障害者なんでも相談”プロジェクトチームを作り、
社会福祉士もあっせん人として関わられる、紛争→解決だけでなく弁護士が
「調整できる仕組」とした、という耳寄り情報が聞けました。が、私が特に
「ええなあ～」と思ったのは、和歌山や明石の行政の人の取組報告が貴重で、
沖縄の広域相談専門員の方の話も聞けたことです。題名に「行政の役割」も
入れてもいいくらい。

「障害者差別解消推進条例」「手話言語条例」を昨年つくった和歌山市
の障害者支援課の方が配ったパンフレットはGOOD！でした。それぞれの
障がい特性について、困難なことが具体的に書いてあり、次に街なかで困っているときの
具体例をそれぞれ絵で紹介。いっしょにできること、という観点でサポートの仕方を説明。
災害時サポートの欄まであります。もちろん差別解消法の説明も。

弁護士を任期付公務員として職員採用している明石市では、「障害者配慮条例」で、合理的配慮の
提供を民間も一律に法的義務とした上、ちゃんと助成制度を設けています。(コミュニケーションツールの
作成には5万円まで、スロープの工事は20万円までなど)もちろんこちらもちょうどわかりやすい啓発パンフ
があり、当事者がどんな困難を持っているか、どういう配慮が必要かが説明されています。

“てっとり早い啓発”“これさえやればよい啓発”は無い。当事者の側に立った啓発活動を”というの
が明石の障害者施策担当者のスタンスだとのこと。いいね！！押したい気分～でした！！(な)



和歌山市のパンフレット

「相模原市障がい者惨殺事件をどうみるか」に参加して

私 齋藤は京都で行われた「相模原事件をどう見るか」の講演会と
シンポジウムに行きました。

登壇者の尾上浩二さんと熊谷晋一郎さんのシンポジウムは大変勉強
になったし、日頃から私が考えていた事を明確に分かりやすく話
してくれ、大きくうなづきながらききました。会場からの発言も勉強
になりました。障がいを持ったお子さんのお母さんが「障がい者自身が
外へおおいに出て行って、自分たちは生きているんだと主張すること
が大切」と話されていました。印象に残ったことがいくつかあります。

一つは、尾上くんが、この事件についてマスコミにインタビューされるとき、精神障がい者が事件を起
こしたかのように聞かれて「いいえ、そうでは無くてこの事件の背景にあるものは社会によって生み出
された優生思想に問題がある」と言っても、大半の記者は「あなた達の世界で起こった事件＝精神医療
問題なんですね。」という対応が殆どだったということ。二つ目は、社会や人々がこの相模原事件を風化
させていっているという指摘でした。本当に多くの仲間が殺され、悲惨極まりない事件だったけれど、
植村容疑者もこの社会においては被害者であり、事件と離れて考えても要因には分離教育があると私
は思います。インクルーシブな社会が良いのです。そして風化。震災で被災された人たちの事も風化し
ていく傾向に社会はありますね。そういう社会だから、いろんな問題を抱えた人たちが一人きりで劣等感
を抱え、「自分だけが被害者なんだ」という事を考えてしまうのかもと、確信しました。(まー)



シンポジウム会場の様子(京都)

今月から新連載が始まります。題して、
「コラボにまつわるエトセトラ」

昨年12月のクリスマス会にてお披露目となった
芸術大作！この作品を作り上げた塩見孝明さん、
大同美香さんに、お話を聞きました。
製作過程で起きた、あんなことやこんなこと。
お二人にじっくり話して頂きました。

＝＝クリスマス会が開かれたのは12/17ですか。
あの日、今、座っている所のちょうど背面にある
壁ですね。

大同（以下“大”）：もう真っ白や。

塩見（以下“塩”）：さっぱりしたなあ。

＝＝あそこに大きな絵があった
わけですね。

大：あった気がする。

＝＝あれからはや3ヶ月がた
ったと言うことですね。改めて
今回、製作中にある出来事や、そのとき考えていたことを

大：「そのとき歴史は動いた」

的な感じでは？

＝＝そんな感じで伺っていきたく思います。

《完成までに約5ヶ月》

＝＝完成までどれぐらいの期間かかりましたか？

大：まず、どういう風な図案にするかとかいうの、

木やら月やら星やら時計やら決めて。

塩：最初に打ち合わせしたのがいつやった？

塩：最初は？

大：最初はグーじゃない

塩：最初はだから（2016年）7月21日。ほんまにここからスタートしたから。まず第一回打ち合わせ。

＝＝じゃあだいたい製作には5ヶ月かかったと。

塩：そうだね、まあまあ。でもリアルに焦りだした

のが、11月っていうのははっきり覚えてる。でも

ほんまに話をしだしたのが、その前の年の忘年会

や。もうはっきり覚えてる。

大：なんでおぼえてるの。私記憶無いのに。

塩：あの時に口説き始めたんや。軽くやけどね。

《何度も何度も口説いたけれど・・・》

＝＝そもそもなぜ大同さんを誘われたんですか？

塩：まあフォーラムとのつきあいも長くなってきて、なんかこう、何か残したいなっていう感覚があつて。後は絵をやっている人間が意外と多かったっていうのと。まーさんもヒロッキーもかおりちゃんもやってるし、みーちゃんもやってるし。

まあ誰かとやりたいなとおもって。で週に1回のペースで描いてるのってみーちゃんやと思ったから。まあ、かるくみーちゃんを誘ったのがきっかけみたいな。

大：軽すぎて気づかなかった。まともにとらなかつたといったら失礼やけど、まあ言い方悪く言う

たら社交辞令、「またやろうね」みたいなそういう感じ。そういう軽いのりかと思つてた。

塩：そんな感じで流されてたのは覚えてる。さっぱりと流されてた。

大：かわいそうに。

＝＝じゃあ大同さんが、本気でやるか！ってなったのには、なにかきっかけが？

大：あのときは何やった？

塩：だから熊本地震の募金の時に、改めてくどきはじめて。改めて改めてやな。あのときに、やろうややろうやって言まくってたらようやくみーちゃんが折れてくれたっていう感じ。

大：重い腰がね、なかなかあがらなかったんよ、根が生えてたから。

塩：まあ、暖かいときにやってたから気持ちも晴れてくれたのかなっていう感じで。

大：暖かかったかな？（次号につづく）



〈対談〉〈ききて・写真〉
塩見孝明 井筒 怜
大同美香



じりつしえんせんたー
自立支援センターたかつき～わたしたちが、やっていること～

- **重度訪問介護 従業者養成研修**：年に2回（9月と3月ごろ）研修を行っています。
 - **ピアカウンセリング**：当事者同士でお互いの気持ちを共感・共有します。
 - **自立生活プログラム(ILP)**：宿泊体験・外出体験・料理体験など自分の自立生活に必要な知識や経験を身につけていきます。
 - **自身体験室**：実際にヘルパーを使って生活をする体験ができます。誰でも使えるので気軽に声をかけてね。
 - **相談・情報提供**：障がい者の生活に必要な情報の提供を行い、相談にのります。
 - **障がい者 自立フォーラム(地域活動支援センターⅢ型)**：日中に集い、障がいを持つ仲間や、友人作りの場として活用して下さい。私たちと一緒に自分探しをしませんか？
- その他**、お花見、ピアカーテン、クリスマス会などの交流の場をみんなで考えて計画しています。お気軽に遊びに来てください！



ヘルパー対象学習会

**災害時には
 どうすればいい？
 何ができる？**



次回の学習会のテーマは「災害時にはどうすればいい？何ができる？」です。
 東俊裕さんの講演『災害支援の網の目からこぼれ落ちる障害者』を題材に、みんなで考えていきます。
日時 2017年4月22日(土) 10:00~12:00
場所 当事業所事務所にて
 申込は、自立支援センターたかつき(072-672-1294)まで
 (当日参加も可、2時間分の時給、交通費が支給されます。)

**お花見の
 おしらせ**

今年もお花見やります！
日程は 4月8日(土) 13:00~15:00
場所は 城跡公園
 ごめんなさい 今年はお酒なしです.....

4月のフォーラムの予定

- ☆ **毎週木曜日はクラフトの日!**
 カワイイ手作り品作り、お気軽に体験しに来て下さい♪
- ☆ **セラピードッグ** しばらくお休みです.....
- ☆ **「ミカ@マーケット」** 4月11日 コーヒー1杯 120円です~



◎お問い合わせは自立フォーラムまで
 TEL: 072-672-8532

